

ごとう

編集・発行／五島市議会広報特別委員会
五島市福江町1番1号 TEL.0959-72-7923



目次

正副議長あいさつ	P 2
各委員会の紹介	P 3
平成25年度 当初予算内訳	P 4
平成25年度 当初予算主要事業	P 4
市政を問う（一般質問）	P 6
委員会審査	P 11
意見書提出、編集後記	P 12

嵯峨島小学校 入学式

4月8～10日市内の小中高校で入学式が行われました。嵯峨島小学校ではたった1人の少しはにかんだ新入生を、在校生が温かく迎えていました。

第2回臨時会

正副議長・委員会の構成決まる

議長に荒尾正登氏

副議長に清川久義氏を選任

二月三日執行された市議会議員選挙において、新しく当選された二十二名による初議会が二月二十七日に開催されました。この臨時会は、正副議長の選挙、総務・文教厚生・経済土木の各常任委員会の構成と正副委員長との互選が主なものであります。開会后、臨時議長を決定し、臨時議長、野口市長のあいさつが行われた後、理事者と各議員の紹介が行われました。

その後、正副議長の選挙が行われ、投票により、議長に荒尾正登氏、副議長に清川久義氏が当選されました。

次に、臨時会の会期を一日とした後、議席の指定、各常任委員会委員長の選任を行い、さらに人事案件が上程され、議会選出の監査委員に中村康弘氏が同意されました。

議長

荒尾正登

副議長

清川久義



正副議長あいさつ

中立公正、民主的な

議会運営に努める

市民の皆様には、日頃より市議会活動並びに市政各般にわたり、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

このたび私どもは、五島市発足後、三回目の公選による議会構成に当たり、議長及び副議長に就任いたしました。

誠に光栄に存じますとともに、その責任は極めて重大であり、中立公正、民主的な議会運営に努めてまいりる所存であります。

また、市の均衡ある発展、住民福祉の向上、魅力あふれる五島市づくりのため、全身全霊を傾け、かつての賑わいを取り戻せるよう努力を傾注してまいりたいと考えております。

加えて、市民の望む方向性を的確に把握し、市民各位のご意見、ご要望を市政に反映させながら、住みよいまち「五島」を創造するため、議会が一丸となって取り組んでまいります。

市民の皆様におかれましては、市議会活動により一層の深いご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



各委員会の紹介

経済土木委員会



副委員長
野茂勇司臣



委員長
橋本憲治



委員
椿山恵三



委員
古川雄一



委員
中村康弘



委員
網本定信



委員
清川久義

文教厚生委員会



副委員長
三浦直人



委員長
相良尚彦



委員
草野久幸



委員
江川美津子



委員
明石博文



委員
片峰 亨



委員
林 睦浩

総務委員会



副委員長
村岡末男



委員長
神之浦伊佐男



委員
菊谷岩雄



委員
宗 藤人



委員
木口利光



委員
谷川 等



委員
野瀬健一

委員 野茂勇司臣
委員 中村康弘
委員 林睦浩
委員 野瀬健一
副委員長 明石博文
委員長 木口利光

議会広報 特別委員会

委員 野瀬健一
委員 橋本憲治
委員 三浦直人
委員 草野久幸
委員 中村康弘
委員 宗藤人
副委員長 木口利光
委員長 網本定信

議会運営 委員会

平成25年3月定例会

平成25年3月定例会は、3月7日から3月27日までの21日間の日程で開催された。

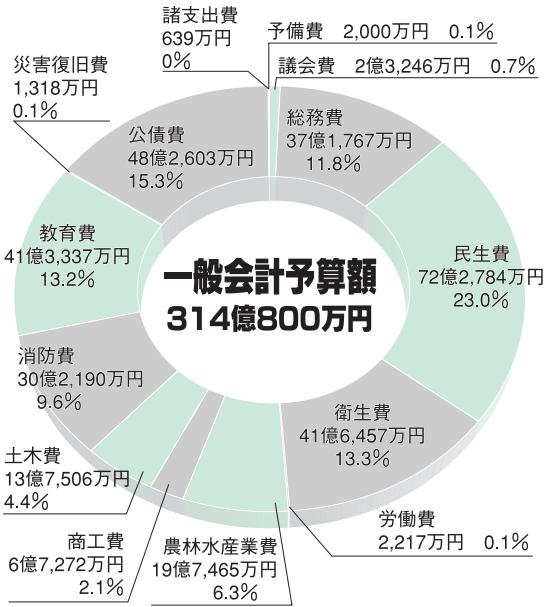
平成25年度当初予算を可決

「五島に活力を」「暮らしを守る」「子どもたちに島を託す」市民生活に関わりの深い予算を盛り込んだ予算
総額459億800万円

一般会計 314億800万円 (前年度比12.2%増)

特別会計 145億円 (前年度比2.3%増)

一般会計歳出予算の内訳



平成25年度各会計予算額

会計区分	平成25年度予算額	前年度比
一般会計	314億800万円	12.2%
特別会計	145億2万円	2.3%
国民健康保険事業	72億2,481万円	3.2%
介護保険事業	59億9,393万円	4.8%
後期高齢者医療	4億7,962万円	1.7%
診療所事業	9,215万円	△2.6%
簡易水道事業	5億8,920万円	△19.4%
と畜場事業	1,861万円	7.1%
大浜財産区	612万円	△56.9%
本山財産区	262万円	10.3%
下水道事業	940万円	0.1%
公設小売市場事業	463万円	1.1%
港湾整備事業	2,493万円	0.4%
交通船事業	4,371万円	△40.4%
土地取得事業	1,028万円	△10.9%
企業会計		
水道		
収益的収入	5億5,698万円	△0.6%
資本的収入	2,913万円	91.3%
収益的支出	5億4,023万円	△0.8%
資本的支出	2億8,831万円	18.6%

※△はマイナス

今年度予定の主な事業

しま共通地域通貨の発行事業

1億4千672万9千円

島外からの来島者にしま共通地域通貨（プレミアム付き商品券）を購入していただき、しま市町で消費してもらおうことでしらの経済を刺激し、併せて来島者に対してしまのPRおよび誘客を行うことで、しまの活性化を図ります。



しまとく通貨

障害者(児)自立支援給付事業

11億3千601万7千円

障がい者(児)が自立した社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスに係る給付その他の支援を行います。二十五年から法改正による

り十八歳未満の育成医療(自立支援医療費)が県から市へ権限移譲されています。

地域医療情報共有化事業

1千766万2千円

地域完結型医療を進めるために、五島中央病院の医療情報を五島

市全体で共有することと、併せて地域医療情報ネットワークの構築を図ることにより、地域住民に対し、質の高い医療を提供し、安心・安全な生活の実現を目指します。

上水道事業会計出資金(遠隔監視システム整備事業)

590万円

二十九年より福江島内の簡易水道事業を上水道事業へ統合することを踏まえ、二十六年より現在各支所に配置されている職員を、本庁に集約(奈留支所を除く)する予定です。この集約のため、現在各支所において浄水場を監視しているシステムを、一括で監視することができるようになるため、遠隔監視システム整備事業に係る経費の一部を上水道事業会計へ出資します。

再生可能エネルギー推進事業

1千183万2千円

日本初の浮体式洋上風力発電が椏島沖に設置され、世界的にも五島が注目される中、風力・潮力・太陽光など豊かな資源を有効に活用した再生可能エネルギー事業に積極的に取り組みます。

韓国観光客誘致事業

699万円

韓国人観光客(巡礼)の誘致に向けた国内での宣伝・セールス活動を行います。また、韓国の情報に長け韓国文化を理解した国際交流員(韓国人)一名を雇用し、事業の推進を図ります。

有害鳥獣被害防止総合対策事業

8千654万6千円

カラスやタイワンリス、イノシシなど有害鳥獣による被害は年々増加しており、銃器による駆除や箱わな等、最も有効と判断される対策を講じます。

離島輸送コスト支援事業

1億4千497万円

離島の自立的発展を促進するため、輸送費用の低廉化を推進することにより、島の特性を活かした戦略製品の開発や確立へつなげ、生産拡大を図ります。

スポーツ交流人口拡大推進事業

1千560万円

市外の実業団や大学・高校等のスポーツ合宿を誘致し、トップアスリート等の高い技術力を見る機会を設けることによる競技力の向上やスポーツによる「まちづくり」と「賑わいづくり」による地域の活性化を図ります。

長崎国体開催事業

5千95万2千円

二十六年開催の長崎国体では、五島市において剣道競技と高等学校軟式野球・トライアスロン及びデモスポート(ペタンク、綱引、グラウンドゴルフ)の開催が決定しています。「市民総参加」のもと、市民の皆様の英知と情熱を結集した夢と感動と活力を与える五島市らしい魅力ある大会を目指します。二十五年には剣道、軟式野球、トライアスロンのリハーサル大会を開催します。

着地型観光推進体制整備事業

601万8千円

五島市を訪れる観光客は、旅行代理店が全てのプランを考える団体による発地型ツアー旅行客が大半を占めています。近年では個人もしくは少人数による旅行客が増えてきています。五島市観光協会が地域限定旅行業の登録を行い、旅行業者として着地型旅行商品の造成・販売及び旅行コーディネーターとしての業務を行います。



椏島沖の浮体式洋上風力発電



スポーツ合宿中のヤマダ電機女子陸上部

一般質問 市政を問う



平成25年3月定例会の一般質問は3月12日から3月13日の2日間行われ、9人の議員が登壇し活発な論議が展開された。

(議員写真は西日本新聞社提供)

三浦直人議員



問 老朽空き家の撤去条例制定を

答 条例制定の準備を進める

質問 老朽化し、空き家となった家屋について、持ち主に撤去を促す条例の制定を行う考えは。

答弁 高齢化や人口減少に伴い、増加している空き家は、建物の倒壊、建築資材の飛散、景観の悪化など様々な問題を引き起こしている。空き家とはいえ、個

人財産であり、所有者の権利が法律によって守られているため、行政が一方的に撤去することはできない。今後、空き家の適正管理や所有者による撤去を促す「空き家条例」の制定に向け、準備を進めていきたい。

市への陳情の状況は

質問 合併後の陳情処理状況と平成二十四年度の陳情件数及び処理状況は。

答弁 合併後の



市民課窓口

陳情で、確認できたものは、千五十件、うち六百八十件を処理している。現地確認を行い、市に関係のない陳情も四十三件あった。また、二十四年度の陳情は二百八十九件で、うち百三十五件を処理している。

質問 市長の考える行政サービスとはなにか。

答弁 私が考える行政サービスとは、市民が安心して快適に暮らすことが出来るように自治体が行うサービスである。そこで様々な地域課題を的確に把握し、それに対応する施策・事業を関係者と連携しながらスピード感をもって推進していきたい。

行政サービスとは

質問 本市において、四歳以上の幼児を対象に実施している、フッ化物洗口については、安全性を疑問視する声もあるが、フッ化物洗口の安全性は、

答弁 フッ化物は、過量に摂取すると中毒や骨硬化症という病気を引き起こすことがあるが、今回、実施する毎日法では、フッ化ナト



草野久幸 議員

問 フッ化物洗口の安全性は

答 人体に影響はないと考える

リウムを溶解し、濃度を薄くして使用するの
で、WHOや日本口腔衛生学会の見解では、
アレルギー反応や人体
に影響はないと言われ
ている。

解説 フッ化物洗口とは、フッ化物溶液を用いて、ブクブクうがいを行い、歯のエナメル質表面にフッ化物を作
用させて虫歯を予防す
る方法。

施政方針における重要政策は

質問 施政方針では、野口カラーが見えないが、施政方針の中で重要と考える施策は、

答弁 実施する全ての施策が重要であるとの
思いで取り組んでいる。
その中で、施政方針
に掲げる三つの政策目
標「五島に活力を」「暮
らしを守る」「子どもに
託す」をテーマに、基
幹産業である農林水産
業、観光などの振
興により五島に活
力をみなぎらせる。

また、高齢者対
策、医療・福祉対
策及び教会群の世
界遺産登録と再生
可能エネルギーの
島づくりを重要施
策と考える。

フッ化物洗口の洗口図



質問 市政の重要な課題と取り組みは。

答弁 主な取り組みとしては、経済活動の活性化を図るため、離島活性化交付金を活用し、農水産物の輸送コストについて、生産者の負担を三分の一に軽減する。

また、県内で発行されるしまとく通貨と、本市独自の取り組みと

網本定信 議員

問 五島市政の重要な課題と取り組みは

答 経済活動の活性化を図って
いきたい



して特産品のプレゼン
トやお宿もちキャンペ
ーン等を連動させ、し
まのPR及び島外から
の誘客、島内消費の拡
大につなげていきたい。

結集枠予算の内容は

質問 市長が掲げる政策目標達成へ向けた新たな結集枠予算の内容は。

答弁 子育て家庭支援事業、離島輸送コスト支援事業、再生可能エ

ネルギー推進事業など
十八の事業を結集枠予
算として計上している。

支所地域の振興を

質問 支所地域の振興についてどのような取り組みを行うのか。

答弁 まちづくりの基本的な考え方と具体的な事業を迅速に展開できるよう五島市支所地域振興計画の見直しを行う。



三井楽支所「万葉の里ペーロン競漕大会」



江川美津子議員

問 全国の国保財政の状況は

答 全国自治体の46.6%が赤字となっている

質問 本市においては、国保会計の歳入不足に伴い、国保税の大幅な引き上げを予定しているが、全国の状況は。

答弁 平成二十三年度については、全国千七百十七自治体のうち、四十六・六%にあたる八百自治体が赤字となっている。

低所得者への国保税の軽減策を

質問 国保税の条例改正案では、痛みを伴う負担は求めているが、軽減策については示されていない。恒常的な低所得階層への軽減策こそ必要ではないか。

答弁 恒常的な低所得者対策としては、法定軽減の制度や市独自の離職者減免制度、さらに、非自発的失業者の軽減制度を適用し、軽減・減免を行っている。

ごみ分別の細分化についての具体的計画は

質問 ごみ分別の細分化についての具体的な計画は。

答弁 現在の燃やすごみの中から、生ごみ、紙類、プラスチックの三品目を新たに分別し、その後徐々に分別を増やしていく計画で、二十六年四月に三カ所程度のモデル地区で、新分別による収集をスタートし、問題点などの調査を実施した上で全地区へ拡大していく、最終的に二十八分別を想定している。



4分別になる燃やせるごみ

中村康弘議員



問 市民所得アップに対する考え方

答 農林水産業と観光産業の振興を図っていききたい

質問 市民の所得アップに対する市長の考えは。

答弁 市民所得を上げていくためには、企業誘致による「企業所得」、そこに雇用される「雇ユーザー報酬」の増加が最適だと考えるが、企業誘致も難しい中、やはり五島市の基幹産業である農林水産業の振興と交流人口増加による

観光産業の振興を図っていききたい。

微小粒子状物質（PM2.5）対策について

質問 本市のPM2.5の対策は。

答弁 PM2.5については、すでに県が本市をはじめ、県内各地で観測を開始しており、そのデータが国の環境基準値を超えると判断した場合、市やマスク等へ注意喚起の情報提供することになっている。市はこの情報を受けて、ホームページ、ケーブルテレビ、防災行政無線及び告知

放送を利用し周知することになっている。

図書館建設は

質問 新図書館建設のスケジュールは。

答弁 施設の規模、内容等について検討中であり、まだ報告段階ではない。新図書館の目指すべき将来像として「五島、海と歴史を活かす図書館」を掲げ五島の個性的な歴史・文化関連資料を収集し、「椿の島づくり」を推進しているため、椿に関する資料の充実にも努めたい。



PM2.5(微小粒子物質)測定器



木口利光議員

問 地域経済の活性化と雇用創出が重要では

答 農水産加工業等の販路拡大支援に努めたい

質問 人口減少が続く中で、五島牛、かんころ餅、農水産加工品等一次産品ブランド化による地域経済活性化と雇用創出が重要ではないか。

答弁 五島市という小さな市場だけでなく、福岡等で展開しないと本市経済の発展は望めない。

五島牛については二



第10回全国能力和牛共進会

十五年度予算で新たに但馬系優良繁殖雌牛群整備事業を計上し、事業拡充を図りたい。

かんころ餅については、農作業の効率化や労力軽減のための機械導入、かんころ棚設置補助策等により、作付面積拡大に取り組むたい。農水産加工業は外貨を稼ぐ効果、雇用創出効果が大きいため、インターネット等情報発信による支援策や物産展商談会等販路拡大支援に努めたい。

改正離島振興法の活用について

質問 改正離島振興法を一次産業での燃油問題や流通経費対策及び一次産品販路拡大に活用できないか。

答弁 流通コスト対策として離島活性化交付金を活用し、野菜、魚介類の流通経費を国県市で三分の二を助成する。

また、燃油高騰は農業者の経営を圧迫しているので、活性化交

付金予算十億円の大幅増額とメニューの拡大、補助率引き上げ等に関係自治体とともに国に働きかけていきたい。

質問 関税ゼロと非関税障壁の撤廃が原則であるTPPへの参加は、五島市民の命と暮らしを守るために、断固として反対すべきでは。

また、TPP参加での市民への影響は。

答弁 市民が受ける影響は、農業で米・牛肉・豚肉・麦・茶等で二十八億七千万円。五島地区の水産業で、約四十

橋本憲治議員

問 TPP交渉参加には反対を

答 国には慎重な対応を求めたい



つばき研究所の創設を

質問 五島のツバキに、「ツバキ花腐れ病」と

三億円であり、アジ、サバ、イカ、カツオ、マグロ類に影響が大きいと思われる。市としては、国には慎重な対応を求めたい。

いう病気の感染が広がっている。その対策も含めて、感染症に強いツバキをつくり、島外に売り出していくためのつばき研究所の創設を。

答弁 今後、ツバキの実際の増産に向けた対策として、県の研究機関に相談して検討したい。



ツバキ花腐れ病



相良尚彦議員

問 電子カルテ
「あじさいネットワーク」
システムの状況は

答 五島中央病院に設置している

の手続きを進めていき
たい。

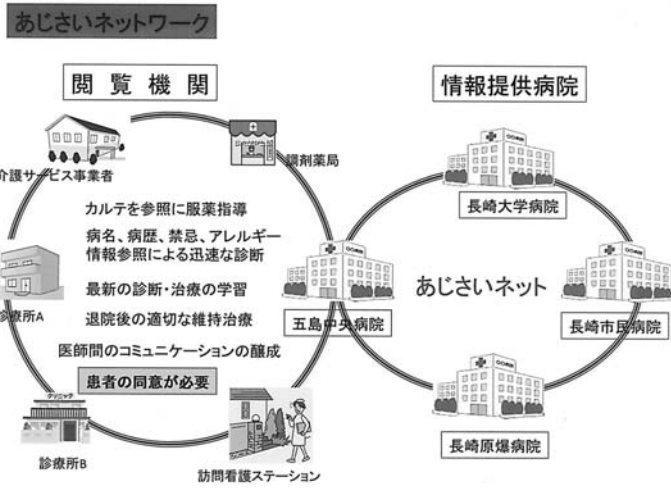
**調剤カルテと医療
情報管理センター
の今後の展望は**

質問 調剤（薬）カル
テと医療情報管理セン
ターの今後の展望につ
いて。

答弁 調剤情報システ
ムについては平成二十

五年度にシステム構築
を行い、薬調剤情報の
共有化に取り組む計画
である。

このシステムにより、
全ての市民に対して安
心安全な医療を提供で
きると共に、適正な薬
の処方による医療費の
削減と独居老人等の見
守りにも効果があると
考えている。



電子カルテによる「あじさいネットワーク」システム

質問 電子カルテによ
る「あじさいネットワ
ーク」システムの計画
状況について。
答弁 県地域医療再生
臨時特例交付金事業を
活用して基幹病院であ
る五島中央病院に二月
二十八日で設置を完了
した。
今後は医療機関へあ
じさいネットへの加入
促進を図り、運用開始

明石博文議員



問 奈留病院再編計画
について

答 地域住民に情報を提供し、
理解していただく必要があった

病院企業団側も、医師
確保の困難さや病院の
実情等を市民の皆様にも
もっと、情報提供し、
医療に対する理解・関
心を深めていただく必
要があった。

質問 奈留病院につい
て①病院経営の赤字対
策は。②病床数の減少
は、人口減少だけの問
題なのか。③奈留病院
に対する住民の声を理
解しているのか。④医
師不足の問題について。
四月より医師二人と聞

いているが、これから
先どうするのか。
答弁 質問事項は病院
企業団の権限事項なの
で、確認したところ。
①医薬品などの共同購
入、職員の給与見直し
を行った。②現在は手
術を行っていないこと
また、介護施設の充実
等が考えられる。③病
院内に意見箱を設置し、
職員への指導や設備環
境の整備を行った。ま
た、職員の接遇マナー
等の研修にも努めてい
る。④長崎医療センタ
ーより支援

①より支援
いただき、
医師三名体
制に向け、
医師確保に
努力する。
このこと
あり、④に
ついては五
島市として
も、強く要
望してい
たい。

質問 奈留病院再編計
画について、住民への
説明は十分だったのか
また、住民の認識不足
があったのではないか
答弁 地域審議会、市
政懇談会、地域医療を
考える地域住民との意
見交換会の折に、あり
方検討委員会での経過
や、市の考え方につい
て説明を行ってきたと
ころであるが、行政や



奈留病院

委員会の審査

本会議において、各常任委員会に付託された案件は、条例31件、平成25年度各会計当初予算、平成24年度各会計補正予算など23件、請願1件で、各案件に対し慎重な審議が行われた。

総務委員会

問 しま共通地域通貨の発行事業で、市内加盟店の現状と島外へのPR法は。

答 商品やサービスの購入ができる加盟店は、福江地区が百店舗、富江地区が十店舗、奈留地区が約二十店舗で、玉之浦地区・岐宿地区・三井楽地区合わせて約二十店舗となっており、合計で約百五十店舗の申し込みが行われている。

島外からお客様を呼び込むためのPRについては、長崎県離島振興協議会内にある、しま共通地域通貨発行委員会のメンバーと担当職員が、福岡県・広島県及び東京方面等に出向いて誘客のためのPRを行っている。

また、コマージュの製作やJTBとのツアー企画の造成、福岡での地下鉄ジャックなど、創意工夫を凝らした取り組みを実施して

いきたい。



救助工作車イメージ図

問 今年度導入予定の救助工作車の概要は。

答 救助工作車は、通常レスキュー隊と呼ばれる救助隊が搭乗する消防車両で、五島市消防署本署に車両一台を設置する必要がある。

現在配備されている救助工作車は、二十年近く経過し、老朽化しており、必要な資機材は搭載しているがクレーンなどが装備されていない。今回予定している車両には、クレーン、ウインチ、強力な照明装置などが装備されており、最近多発している護岸での転落事故など、日常生活で起こる

文教厚生委員会

さまざまな救助に対応できると期待している。

問 漂流・漂着ごみ撤去事業の概要は。

答 大量のごみが海岸線に漂着していることから撤去に要する経費を管理課、水産課、生活環境課が、それぞれ所管する海岸について予算計上している。

今後も、各支所管内の市管理海岸で、ごみが漂着した個所を選定し、市直営でごみの撤去を実施する計画である。

要望 海岸線のほとんどが県所管海岸であることから、事業予算の



細石流の漂着ごみ

確保に向け、県と連携して協議、検討する取り組みが必要である。

問 特別支援教育支援員配置事業の概要は。

答 近年、普通学級には、特に配慮を要する児童・生徒が約六%いると言われており、教員だけでは、どうしてもまく全員を学ばせることが困難な状況である。

本市でも特に介護や授業補助を必要とする学校等に「特別支援教育支援員」を配置している。

平成二十五年度においては、小学校に十六名、中学校に十名、幼稚園に四名の計三十名を雇用し、今後も安全に教育をうける体制づくりに努めていきたい。

経済土木委員会

問 住宅・店舗リフォーム助成事業の補助額が、平成二十四年度の一千万円に対し、平成

二十五年度は一千六百万円に増額されているが、この事業による経済効果は。

答 この事業により市内業者が請け負った工事費総額は、平成二十一年度が約一億三千万円、平成二十二年度が約三億七千万円、平成二十三年度が約二億八千五百万円、平成二十四年度が約二億三千万円となる見込みで、経済効果としては、住宅・店舗リフォーム助成に対して、各年度、約十七倍から約十九倍の効果が得られている。

問 五島観光連盟負担金の事業内容は。

答 五月十日を五島の日とし、五月十日から十二日の三日間、長崎港横のおくんち広場において、五島観光連盟、五島市、五島振興局、新上五島町の共催で、五島の物産、食、伝統芸能、さらに五島の宣伝PRを行うイベントを開催する予定である。

五島市議会議員政治倫理条例の規定に基づく 宣誓書などの提出状況の公表

五島市議会議員政治倫理条例(平成23年4月1日施行)の規定に基づき宣誓書などの提出状況について公表します。

- | | |
|--------------------|------------------------------------|
| (1) 宣誓書(条例第3条)未提出者 | (2) 社会福祉法人等無報酬役員届出書(条例第6条)提出者(届出順) |
| 野瀬 健 一議員 | 三浦 直人議員(平成25年3月18日届出) |
| 林 睦 浩議員 | 木口 利光議員(平成25年3月25日届出) |
| 谷川 等議員 | |
| 神之浦 伊佐男議員 | |
| 片峰 亨議員 | |
| 椿山 恵 三議員 | |

政務活動費の収支報告書等の閲覧について

政務活動費とは、議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として助成するもので、五島市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、会派に対して所属議員1人あたり月額1万円を交付しています。

なお、政務活動費収支報告書等については、閲覧することができますので、議会事務局(TEL72-7923)へお尋ね下さい。



編集後記

二月三日の五島市議会議員選挙において、市民の皆様の審判により二十二名の新議員が誕生しました。

その後、三月議会が開催され、平成二十五年度当初予算が成立しました。今回の一般会計予算は、築後五十年を超える福江小学校改築や消防庁舎建設等を含む、前年度比十二・二%増の約三百四十四億円の大型予算となりました。

離島振興法を活用した農水産物の流通経費助成や島外からの外貨獲得を目的としたしま共通地域通貨発行事業、椿振興等島を支える産業振興策を色濃く反映した予算となっております。

議員の責務は、行政のチェック機能を果たすとともに積極的に政策提案を行い、行政や民間団体と力を携えて、人口減少対策、雇用創出などの課題に立ち向かっていくことだと思えます。

私自身も今回の選挙における五%もの投票率低下は、議会の役割低下が問われている状況にあると真摯に受け止め、今後の政治活動に取り組んでまいりたいと思っております。

(木口利光)

議会広報特別委員会

委員長	木口 利光
副委員長	明石 博文
委員	野瀬 健一
委員	林 睦浩
委員	中村 康弘
委員	野茂 勇司

インターネット議会中継 のお知らせ

本会議の生中継、平成22年6月定例会以降の本会議の映像を視聴できます。

ホームページアドレス

<http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>